

「奄美大島コロナ警戒レベル」 “5” から “4” への引下げに際して  
(奄美大島5市町村共同メッセージ)

令和4年夏、奄美大島においても、感染力が極めて強いオミクロン株の爆発的な拡大により、医療提供体制の維持に危機的な影響を及ぼしました。

そのため、奄美大島5市町村では、最大級の警戒感を共有し、社会経済活動も維持しながら、住民一丸となって新型コロナ対策に取り組むため、令和4年8月3日に「奄美大島コロナ警戒レベル」を最大の5に引き上げ、特に医療機関の関係者及び保健所との連携のもと、住民の皆様への協力依頼など様々な取り組みを行ってきたところです。

奄美大島新型コロナ対策本部会議においては、現下の奄美大島における状況について、新規の感染者数については未だ予断を許すものではないものの、一定の落ち着きをみせ、医療提供体制についても危機的な状況は脱したものと判断いたします。

このことから、9月21日からレベルを「4」に引き下げることといたしました。

これまで、新型コロナウイルス感染症に罹患された全ての皆様にお見舞いを申し上げますとともに、現在療養中の皆様の一日も早いご快復を心からお祈り申し上げます。

また、この夏、基本的な感染防止対策を強く心がけ、感染拡大防止にご努力いただいた住民や事業所の皆様、島内の取組にご理解いただいた帰省や観光などで来島された皆様、なにより危機的にひっ迫する状況にあっても住民の生命と健康を守るためご尽力いただきました医療関係者、介護福祉事業者、全ての関係者の皆様に、衷心より深く感謝申し上げます。

今夏の奄美大島における感染は、乳幼児から高齢者まで全世代に広がり、妊婦や重症化リスクの高い方々への感染も急激に拡大しました。

今なお、少しの気の緩みが再度の感染拡大に繋がりがねない状況であることに変わりはありません。

住民の皆様におかれましては、改めまして、ワクチン接種への積極的なご協力はもとより、今後も「うつらない」「うつさない」行動を徹底していただき、ご自身と大切な人を守る取組を続けてくださいますようお願い申し上げます。

令和4年9月21日

奄美市長	安田 壮平
大和村長	伊集院 幼
宇検村長	元山 公知
瀬戸内町長	鎌田 愛人
龍郷町長	竹田 泰典